

愛知県東郷町農業委員会（地域計画作成に向けて「農業の未来会議」を開催！）

【農業委員会の体制】（令和5年7月20日任期開始 新制度移行後3期目）
農業委員10名、農地利用最適化推進委員5名、事務局職員5名

1 地区の特徴・状況、課題

東郷町は、名古屋市と豊田市の間に位置し、都市近郊型農業が展開されているが、全国的な課題である農業者の高齢化は、本町でも例外ではなく、遊休農地の増加が懸念される。

優良農地の保全や新たな担い手を確保するため、高付加価値の有機農産物の生産拠点として持続可能な農業を実現させようと、令和5年3月に「オーガニックビレッジ宣言」をし、有機農業の推進に取り組んでいる。

2 課題解決に向けた活動（取組と工夫）

地域毎の農業に係る環境特性を鑑み、小さな町ではあるが、5地区に分けて地域計画を策定する。計画の策定に当たって、地域の思いをよりの確に汲み取る必要があることから、ワークショップ方式の座談会を開催することとした。座談会のファシリテーターを専門家に委託し、地元企業、有機農業者、食育関係者等地域の多様な人材を参集して、これまでの会議とは違う全員発言の座談会を開催し、地域主導での計画策定を目指す。



座談会（農業の未来会議）の様子

3 活動の成果

○より効果的な座談会が開催できるよう、農業委員・推進委員、JA及び基幹的農業者等の農業のキーパーソンを対象に全員発言の座談会について事前研修を開催（1月）したことで、2月に開催したモデル地区での座談会では、町職員だけでなく、キーパーソンもグループワークの補助ファシリテーターとして活躍された。

○座談会では、「地域の将来像」をテーマに、幅広く地域の農業への思いやアイデアを集めることができた。モデル地区では、次年度に2回目の座談会で目標地図を語り合い、他の4地区でも座談会の開催を始め、各種の取組を開始し、計5地区で地域主導での計画策定に取り組む。